

なすび

第38号

目次

1p~2p 1年目の決意
2p 寮紹介
2p~3p 行事
4p 部活動
今後の予定
編集後記

栃木県那須学園
〒329-2132
矢板市沢900
TEL 0287-43-0573
FAX 0287-43-6886
メール nasu-gakuen

①pref. tochigi. lg. jp
発行日 令和3年10月30日

今年度初めて那須学園へやってきた先生方も半年が過ぎました。どんな感想を抱かれたのでしょうか。「二年目の決意」をいただきました。

○大島 登（那須学園 園長）

コロナ禍の状況が続く中、児童の心身の健全な成長と自立を目指して職員は日々の支援・指導に取り組んでいます。また、園外行事関係（遠足、野球大会、宿泊学習、水泳記録会等）は児童が経験を通じて自信を得ることのできる絶好の機会と捉えて、コロナ感染予防に最大限配慮しつつ極力実施・参加しているところですが、会話や交流活動が制限されてしまっている点は残念に思います。年度後半には、バレーボール、卓球、陸上、吹奏楽への取り組みが主となりますが、現在改修工事のため体育館が使用できないため、もう少しの間は不便な環境での活動とならざるをえない状況です。

学園の水田の稲は十月には収穫の季節を迎え、新米が子ども達の食卓に上ることになります。

今後も入所児童それぞれが限られた入所期間の中で自主性・自律性を身につけられるような指導を心掛

けつつ、特に来春に中学卒業を迎える児童については、進路や次の生活の場などの方向性を決める時期となることも踏まえ、関係機関等とも綿密に連携しながら組織的な支援を行っていききたいと考えています。

○齋藤 隆（男子二寮）

那須学園に異動してから五ヶ月、男子第二寮での子供達との生活や活動を通して、あつという間に月日が経つのが感じます。以前学園に勤務していたことはありますが、現在入所している子供達との関係作りは当然ゼロからのスタートであるため、対話し一緒に汗を流しながら彼らのことをよく知ろうとしています。彼らが抱えている課題の解決に向けて助言したり、相談を受けたりと先生らしいことが未だに出来ていません。二寮の先生方を中心に関係機関とも情報共有、連携を図りながら、彼らのより良い支援を探っていききたいと考えています。

○野澤 篤士（男子二寮）

那須学園の職員となり、あつという間に半年が経ちました。野球部や水泳部の指導など、今までの仕事か

らは想像もつかないような内容で、慣れることで精一杯の勤務だったように思います。

一年目の決意ですが、心理職として着任しておりますので、「心理職として動く時間を増やしていく」ことを目標したいと思います。那須学園における心理職は寮職員も兼ねて配置されておりますので、心理面接に割ける時間が限られてしまう中、可能な限り心理職としての役割を全うできればと考えております。寮の先生方にはご迷惑をおかけする場面もあるかと思いますが、精一杯頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○齋藤 敦子（女子寮）

四月从那須学園に勤務し、四月が過ぎました。日課の流れや子供達への声かけなど、なかなか出来ずに戸惑うばかりでした。男子二寮の先生方が一つ一つ丁寧に指導くださりました。なんとか子供達とコミュニケーションが出来はじめた矢先に女子寮に異動となり、また一からやり直しの日々でした。

少しずつ仕事に慣れ、女子寮の子供達と一緒に過ごす時間を大切に

しています。個性の強い女子の中で一人一人に合った接し方を目指し、たくさん褒めて行きたいと思っています。慣れないことばかりで迷惑をかけることが多いと思いますが、明るく頑張りたいと思います。

○藤田 稔（沢分校 教頭）

「分校は勉強するところ」、これは学園に入所した生徒との最初の面談で私が話す言葉です。生徒達の自立のためには、やはり学力は必要です。生徒一人一人の学力向上のため、我々分校職員は丸となり授業を組み立て、指導や支援を行います。ただ、急速に変化しているこの世の中では、しっかりと自分の考えをもち、状況を判断して生きていく力が大切です。知識や教養を身に付けるということも大切ですが、学んだことがこれからの彼らの人生で生かされるような学びの場にしたいたいと思っています。生徒一人一人が自分の人生に目標をもち、今学んでいることが、将来の自分を支えているということが実感できる、そのような分校にしていきたいと思っています。

○阿久津 智彦（沢分校）

四月から赴任して半年が過ぎました。今までの職場とは異なり、様々な面で戸惑うこともありましたが、周囲の先生方のサポートもあり、新たな気持ちで毎日を送っています。コロナ禍で学校行事がどのよう

になるのか不安もありましたが、感染予防に注意しながら宿泊学習、遠足、水泳大会など全て実施でき、普段の学校生活では感じることでできない生徒の生き生きとした姿を見て、今後も授業や学校行事、部活動などを通して生徒の成長につながるように精進していきたいです。

○岸 直子（沢分校）

夏休みが過ぎ、分校勤務も半年が経ちます。四月からこの半年は、子供達とどう関わることが正解なのか自分の役割は何かと悩み考える毎日でした。

これまで三十年以上、養護教諭という立場でしたが、家庭環境の不満や友人関係の不満、自分自身の悩みなど多くの生徒の相談に乗ったり、関係機関につなげたりと子供達やその保護者の支援をしてきたつもりでした。しかし、その経験は役立つことは少なく、自分の無力さを反省するばかりです。

学園の先生方の支援の仕方や、生徒へのアドバイスの内容は、いつもなるほどと感心させられます。これまで以上によりよい関わり方ができるような学んでいきたいと思えます。

今年度は学園の寮長が全て入れ替わりました。そこで各寮長方に寮の様子や抱負について伺いました。

☆男子一寮 石田 博英 寮長

今年度は職員が六名、子供は中学三年生が三名、中学二年生が一名でスタートしました。約半年が経過し、現在は中学三年生が二名、中学二年生が三名、中卒生が一名の合計六名で生活しています。学園に入所してからの期間はそれぞれ違いますが、一番入所が長い子供は二年以上が経ちました。寮の雰囲気としては、みんな生活を頑張ろうという気持ちで伝わってきます。ただ、まだまだ気持ちの幼い児童が多く、そして寮の中心や柱になる児童も今のところおらず、これからといったところです。

昨年度は新型コロナウイルス感染症があり外出等が制限され、園内でバーベキューをしたりして楽しみました。今年度もまだまだ感染の恐れもあり、例年のように寮単位でのイベントや行事などができないかもしませんが、職員が工夫を凝らし、頑張って生活している子供達と笑顔で生活が出来れば良いと思います。

☆男子二寮 上坪 聡 寮長

今年度、女子寮から男子二寮に異動しました。久しぶりの男子寮勤務となり不安で有り楽しみで有りといった複雑な心境です。スタート時の児童数が四名、職員が六名でした。約半年が経過して、現在は児童数が六名に増えて、にぎやかに生活しています。

四月当初、三年振りの男子寮勤務

に不安を抱いていましたが、児童との寮生活の中でその不安はすぐに解消されました。しかし、トイレでいたずらが何度かあって、年度スタートから不穏な空気が漂い、なんとも重苦しい雰囲気となっていました。そのような中でも、各児童の頑張る姿と、それを支援する一生懸命な職員の生活を通し、徐々に集団としての形が出来上がってきました。“当たり前前”の事を当たり前に実践する”を目標に、互いが認め合える集団の中で、すべての児童が“自分の居場所がここにある”と感じ取れる寮運営を目指していきたいと思えます。

☆女子寮 白井 聡 寮長

今年度より女子寮長になりました。白井です。那須学園では、女子寮は男子寮と経験させていただき戻ってきた形になります。

私には中学生の娘がいます。親子関係もたぶん良いはずなので、よく話をします。そんな中、「四月から女子寮だよ」と伝えたら、「えーっ、つ、ぜつたい無理だよ」という言葉が返ってきました。『だよな』と思います。スタートしました。

四月から早くも約半年が経ち、現在、女子寮には六名の生徒がいます。

感情を暴力で表す生徒はいませんが、上手に気持ちを伝えられる生徒は少ないです。そのため、人間関係の衝突が多く見られます。少しでも改善

が見られるように、一人ひとりの良いところを伸ばし、満足感や達成感をたくさん経験させ、いろんなことへの自信につなげていけたらと思います。私自身も女子寮職員の協力を得て、成長していけたらと思います。

☆行事☆

☆流しそうめん会

七月一六日

七月一六日（金）夏の到来。夏と言えばそうめん。那須学園夏恒例行事、流しそうめん会が行われました。夏の到来を実感する流しそうめん会。本来は児童、職員全員が一箇所に集まり、そうめんを取り合いになるくらい大盛況となりますが、今年もコロナ対策のため、各寮でそれぞれ楽しみました。そうめんだけではなく、寮で栽培したミニトマトや枝豆、トウモロコシもコロコロと水に乗って流されてくる様子を見て、児童はびっくりしながらも夢中になって食べていました。寮単位で動けるからこそその楽しみ方も実感することが出来ました。そうめんパワーで、この暑い夏を乗り切ります。

☆海浜宿泊学習

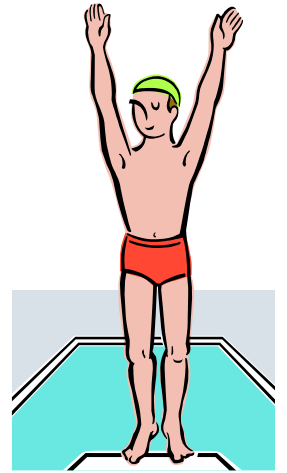
七月一八～一九日

七月一八日から一九日にかけて、海浜宿泊学習が行われました。不安定な天候の中ではありましたが、全行程を予定通り実施することが出来

ました。一日目は宿泊場所のとちぎ海浜自然の家で、海浜スコアオリエンテーリングを行い、自然の中で仲間と協力しながら活動することが出来ました。また、花火やバイキング形式の食事など、普段出来ない活動に児童達も満足した様子でした。二日目は大洗水族館の見学と海での遊泳を行いました。決められたルールを守り、お互いが楽しく過ごせるように意識して行動する姿が見られました。二日間の活動を通して、公共の場での過ごし方や集団行動をする上での時間や決まりを守ることの大切さ、自然とふれあう楽しさを学ぶことが出来ました。



☆水泳記録会
八月二五日
水泳部が始まって三ヶ月間、暑い日も寒い日もありましたが、厳しい練習を乗り越えてきました。頑張った子供達に、何とか晴れ舞台を用意してあげたいという想いから、水泳記録会が実現しました。今年四月に完成したばかりの日環アリーナ栃木の屋内水泳場を貸し切り、緊張感漂う中で記録会を行うことができました。全ての児童がベストタイムを更新し、頑張った良かった、やればできると実感しました。水泳は厳しい、つらい、苦しいと散々な評判でしたが、乗り越えた後の表情からは、一回り大きく成長したように感じます。記録会後は、那須学園杯を行いました。昨年度同様、部活では練習しないプールを楽しむ寮対抗で、日頃のチームワークを活かして競いました。苦しい時も皆で水泳部を乗り越えた仲間だからこそ、団結力が強くなり、最後までやり抜くことができたと思います。



☆生き物調査
九月一日、十月二三日
九月と十月に沢環境保全会の活動の一環として、地域の方々と一緒に那須学園内に流れる小川で、魚や虫など水辺の生物を捕まえてどのくらいいるのや種類かなどを調べる生き物調査を例年行っております。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年通り実施することができずのか心配でしたが、マスク着用、検温の実施等の感染予防対策を十分にしておきました。様々な生き物を捕獲することができ、みんな楽し



そうにしていました。中にはきれいな水の中にしか生息しない生き物なども捕獲することができ、とても大切にしていかなければならない川だと知ることが出来る機会になりました。

☆学園祭
九月二四日
九月二四日(金)に学園祭を開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年通り地域の方や関係者の方を招待しての開催を見送る決断を行いました。それでも子供達の活躍する場を提供したいという思いから、昨年度同様、毎日指導してくださる分校や学園の先生方子供達がおもてなしするという目標を設定し実施しました。模擬店を何にするのか、必要な道具、準備する物等、子供達で自由に話し



合うなどし、主体性を発揮できたと思います。当日は新型コロナウイルス感染症予防対策を十分にして実施しました。各模擬店では、子供達が作成したポスターや飾り付け、一生懸命に接客する姿が見られ、学園の先生をおもてなしすることができました。そして、子供達の頑張りや笑顔から職員全員感動をもらいました。和やかな雰囲気の中で、気持ちもお腹も満たされた最高の一日になりました。



☆部活動☆

☆バレーボール部

今年度のバレーボール部は昨年度の経験者も数名残った状態でのスタートとなりました。四月から水泳部が始まる六月末までの前期のバレー

ボール部では、体力作りと基礎練習、基本的なパスやレシーブ練習を繰り返して行いました。始めのうちはバレーボールに触るのがほぼ初めての子供もいるため、ボールの扱いが不安定で、まともに相手にレシーブを返すことができず、ボールを触っている時間より、ボールを拾いに行っている時間の方が多かった子供達でしたが、次第にボールの扱いが上手になっていきました。水泳部を挟み、後期のバレーボール部では、実践形式の練習を中心に、現在では徐々にバレーボールらしい形になってきています。

☆陸上部

九月一日より那須学園男子陸上部の活動がスタートしました。本年度は五名の“精鋭達”が陸上部を志願しました。部員全員で「心と体を強くする陸上部」という目標を掲げ頑張っています。精鋭達が集まる陸上部ですが実践練習(本練習)にいきつくまでに「練習のための心の準備」、「練習のための体の準備」、を念入りに確認しながら活動をしています。子供達は活動の動きや、心の働きを模索するように取り組んでいます。また走ることで無く心身の調整や、身体のリフレッシュ、心と体の調和を図るような活動を取り入れ、今までには経験したことのない感覚を感じてもらおうと職員側でも模索をしています。

☆卓球部

今年も卓球部の活動がスタートしました。例年は何人かの経験者がいて、その子供達を中心にチーム作りを進めるのですが、今年は経験者が一人しかおらず、ほとんどが初心者を集まりというところからのスタートでした。それでも卓球を好きな子ばかりの集まりなので、毎日の練習で伸びてゆく姿を見られることはとても嬉しいことでもあります。これからも日々の練習を大切に思ってもらえるような卓球部にしてゆきたいと思っています。

☆番外編☆

今後の予定

- 十一月 十九日 収穫感謝祭
- 十一月 二十二日 関東少年文化祭
- 十二月 クリスマス会
(日程調整中)
- 一月 十一日 新年昼食会
席書大会
- 一月 十四日 第一回
スキー教室
- 一月 二十一日 第二回
スキー教室

二月 四日 立志式

二月 十日 園内
マラソン大会



編集後記

今年も暑かった夏が終わり、九月に入ると一気に秋めいた気候になってきました。夏日課を超えた子供達はそれぞれのペースで遅しくなっているようです。卒園して羽ばたく日を目指し、これからも成長し続けてくれることを願ってやみません。

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言などの影響でいくつかの行事予定が調整出来ない物もあります。何かと先が見通せない状況が続きますが、皆様もお身体を大事にしてお過ごし下さい。

育成課
福田・野澤・石口